

「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」 令和2年度年次報告

課題番号MFRI01

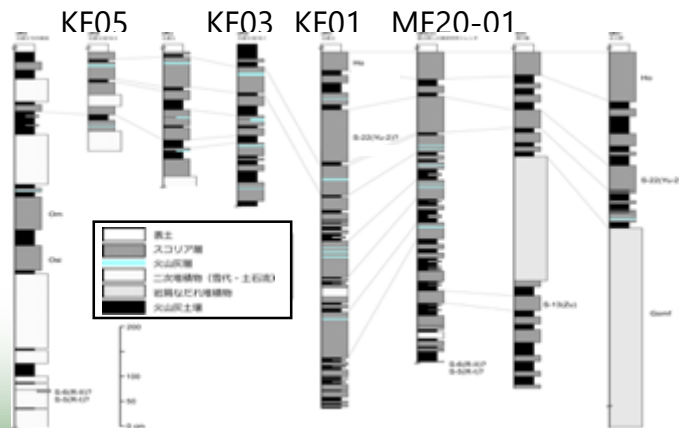
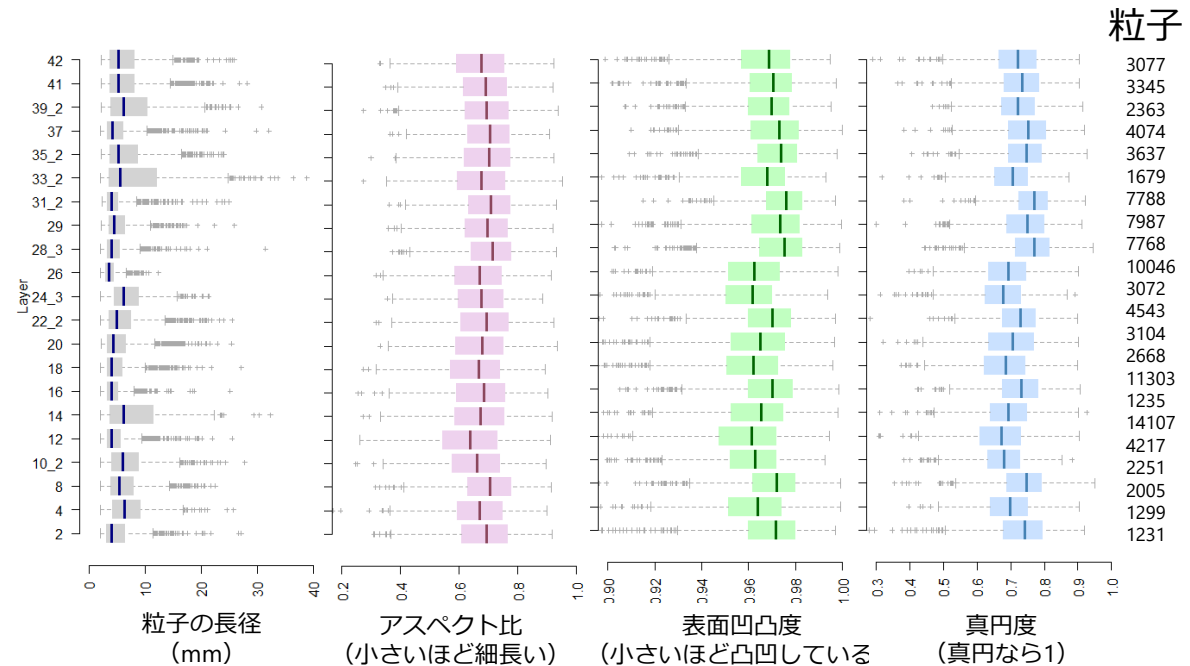
富士山の事象系統樹を精緻化するための噴火履歴の研究

課題番号MFRI02

火山モニタリングと地下水流動把握のための多点連続重力観測

山梨県富士山科学研究所
富士山火山防災研究センター

①テフラ層序の再考による富士山の噴火履歴の高精度化



- トレンチ掘削や野外踏査による調査
- 全岩化学組成や粒子形状解析による識別の精緻化

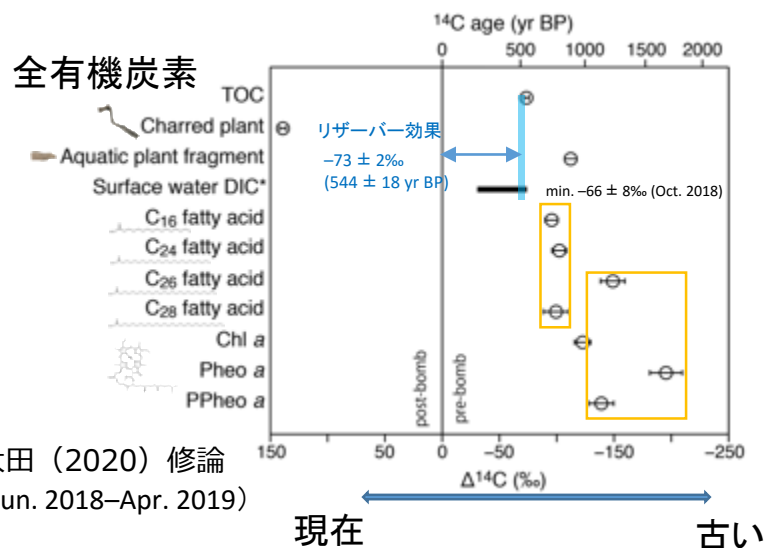


これまでになかった定量的なデータの蓄積

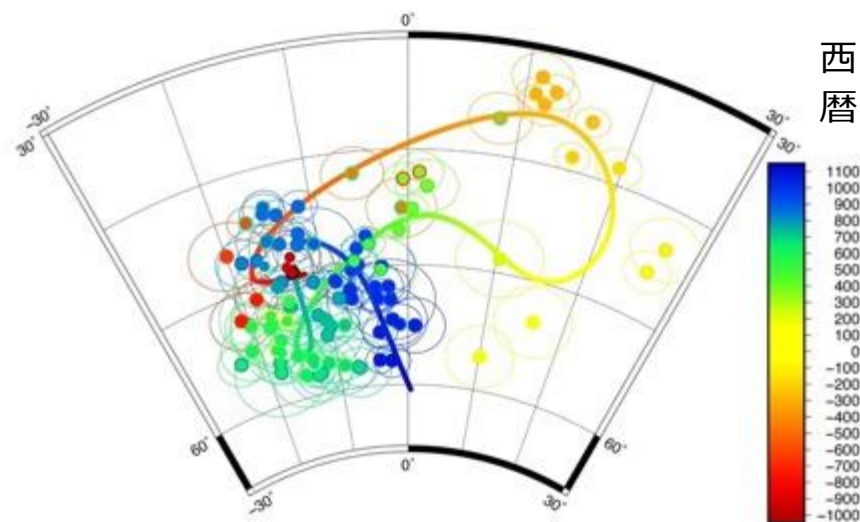
②湖底堆積物を使ったテフラ層序の高精度化

③古地磁気永年変化を用いた富士山の噴火履歴の解明

$$\Delta^{14}C = \delta^{14}C - 2(\delta^{13}C + 25)(1 + \delta^{14}C/1000)$$



*太田 (2020) 修論
(Jun. 2018–Apr. 2019)



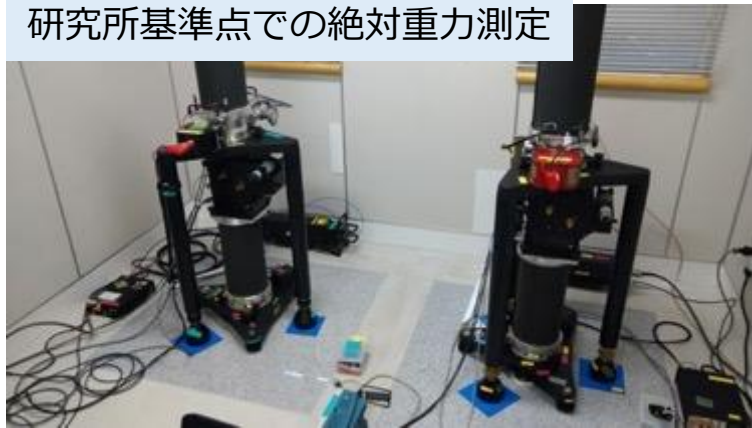
- ・ リザーバー効果の補正により全有機炭素 (TOC) が年代推定に利用可能に
- ・ 古地磁気年代の正確な推定により溶岩の年代が正確に



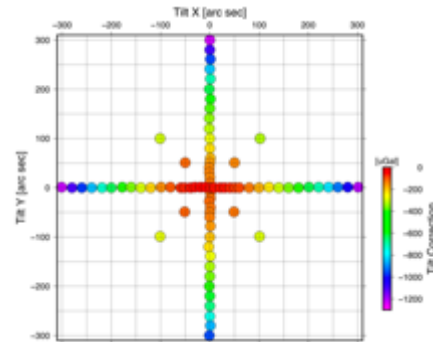
噴火年代のものさしを精緻化

①重力観測網の構築

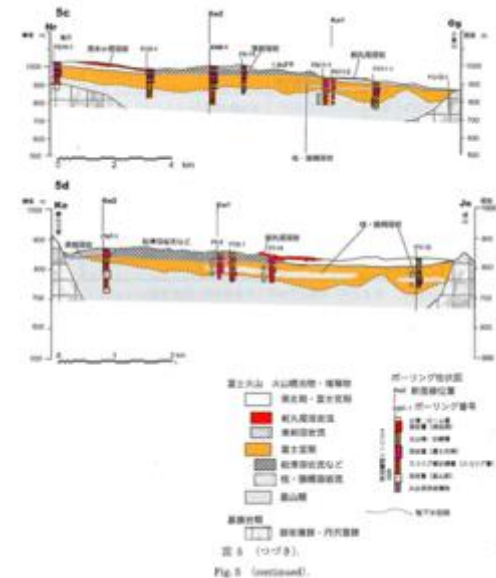
研究所基準点での絶対重力測定



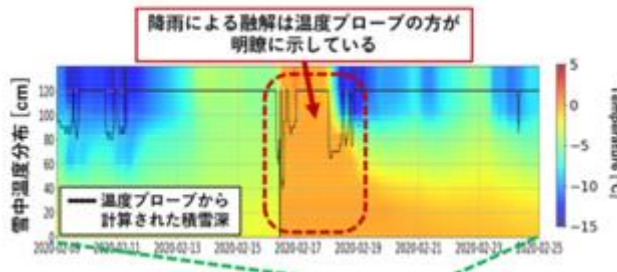
傾斜補正マッピング等実施



水理地質構造モデルの構築



気象観測の整備



- 重力計機材の評価（ドリフト等）
- 観測点の評価（2基台の重力差・潮汐等）
- 気象観測と水理地質構造モデルの構築による陸水補正の取り組み



より正確な時空間変化検出のための観測体制を構築中